

■基本方針

- 企業価値を高めるSDGsの観点や市場関係者のニーズも十分に踏まえ一層の創意工夫を凝らしたスピーディで効率的・効果的な管理運営
- 安定した市場運営が持続できるよう利用料金等の収入の確保と徹底した経費の削減など財政基盤の一層の強化
- 「大阪府中央卸売市場指定管理者評価委員会」、「大阪府中央卸売市場運営取引業務協議会」、「大阪府中央卸売市場活性化協議会」から寄せられた指摘・提言の具体化

■危機管理

- 「消防・防災計画」に加え「危機管理マニュアル」を制定
- 消防・防災訓練の実施
- 民間企業との連携
- 資格者の配置
 - ・防火管理者：3名
 - ・防災管理者：3名
 - ・自衛消防業務講習受講者(統括管理者)：4名

■取扱高

- 青果物、水産物ともに価格高になり、単価は昨対比15円、3.7%アップの426.9円の高値
- 市場全体の取扱高
 - 数量：212,346トン、昨対比97.30%
 - 金額：906億5,494万円、昨対比100.91%
- 推移
 - 取扱数量：平成25年度にやや回復したものの、微減基調にあり、令和5年度は過去ワースト記録
 - 令和3年度及び4年度は僅かながら900億円に届かなかったが、2年連続して前年を上回り、3年振りに900億円台を達成

■施設の稼働率

- 仲卸店舗：96.6% ※達成率：100.6%
- 仲卸事務所：75.8% ※達成率：97.2%

■収入の確保

- 商談の機会の設定等の条件整備→場内業者のビジネスチャンスや販売の拡大
- 空きスペースの有効活用、事務所等の使用許可基準の緩和→新規参入者の促進
- 不法占有の排除→有料区画への誘導等
- 直接集荷の適正申告の指導強化→売上高割利用料金の徴収漏れの防止
- プラスチック製廃棄パレットや鉄くず・ダンボールなどを有価物として売却
- 利用料金等の債権管理の徹底→滞納ゼロ

■経費の節減

- 一般管理費の節減
- 常態化していた不法投棄を抑止→廃棄物処理費用の削減
- 特に悪質な事案は警察へ通報→2事案(2人)立件、1事案(1人)入場禁止(1W)
- 不法投棄件数の大幅な減少→97%以上減→「ゴミ捨て場」の汚名返上
- 魚あらい処理費用のゼロ円の維持→18,000千円/年の削減
- 削減効果
 - 廃棄物排出量
 - 大阪府直営時に比べ、約8,836トン、66.7%減
 - 昨対比約100トン、2.2%減
 - 廃棄物処理費用
 - 大阪府直営時に比べ、約63,715千円、58.9%減
 - 昨対比8,155千円、22.5%増←処理単価が1.5倍アップ(H5.4)
- 電気料金の抑制
 - 需給契約の見直し→▲1,060万円/年(▲17.7%)
 - 「電力最終保障供給」への移行回避→他市場に比較して低水準の価格
- セントラル空調を廃止し、電気による個別空調に転換→▲1,215万円/年

■利用料金制度の活用

- 売上高割利用料金の減額(3.0/1000→2.5/1000)

■経営成績(税抜)

- 営業利益：5,488,185円
- 純利益：10,951,576円
- 利益剰余金：108,618,101円

■府納付金

- 遅滞なく納付(620,000千円)

■果実は市場へ還元

- 事業改革→10,375千円の新たな資金を捻出
 - 市場活性化事業及び修繕事業に投資、還元
 - 市場の活性化に貢献
- ※投資額累計：6億773万円(H25～R5年度)

■維持補修事業

- 現場のニーズを把握し、民間ならではの機動性を発揮し、スピーディに執行
- 維持補修事業費→192件、61,574千円 ※提案額(60,000千円)

■大阪府依頼工事

- 大阪府が施工するより民間で施工する方が事業費、品質、工期等において一層の効果・効率性が期待できる事業は大阪府に代行して発注、施工
- ※ 施工実績
 - [R5年度] : 2事業、67,320千円(税込)※落札率77.3%
 - [累計(H26-R5年度)] : 26事業、995,623千円(税込)

■設備管理・清掃・廃棄物処理業務等

- 経済性・専門性・品質等において、より優れた成果が期待できる業務に関して、府の事前承認を得た上、40事業、405,514,182円をアウトソーシング
※提案額：420,000千円

■保守点検業務

- 計画的に保守点検を実施し、不具合が確認されれば、即刻修理
- エレベータの緊急停止事案については24時間体制で対応

■鳥獣害等防止対策

- ハトの糞対策
→青果、水産仲卸棟5棟天井にネットを整備し、補修、維持管理
- カラスの駆除
→茨木市の許可を得て捕獲
※1,070羽/年

■市場活性化対策

- 競争力のある市場を目指し、市場関係者と一体となり市場活性化に繋がる施策をハード・ソフト面で積極的に推進
- 水産せり場の床面改修工事
- コロナ禍の下で休止していた府市場ならではの市場見学会を再開
※見学者数：24団体、1,518人
- 禁煙対策の徹底
 - 禁煙指導員(40名)による場内ラウンド
→違反者に対する通告書、警告書、入場禁止
 - 「喫煙ルールの違反行為に対する取扱要綱」改正(令和5年4月1日施行)
- 改修トイレ(88か所)の清潔さを維持するため元日を除く毎日2回の清掃
- 管理棟1階展示ロビーの展示物のリアルタイムの更新
- 卸、仲卸及び事業連携大学との連携による集荷・販売力の強化
- 事業連携大学での産地による食育講座の開催
- 小売店での産地フェアの開催
- 活性化事業費：48,817千円 ※提案額(40,000千円)

■CSR活動

- こども食堂への支援
地元茨木市ほか4か所のこども食堂に対して食材の提供等必要な協力と支援
※実施回数：15回
- 障がい者の就労支援
知的、精神障がい者の就労支援としての清掃訓練の場の提供
※就労に繋がった訓練生：2名、延べ43名
- 食品ロス削減の取り組み
 - 理棟内にフードドライブコーナーを常設し、食料品等を関係団体へ適宜提供
※提供物品：約600点、82キログラム(賞味期限2か月以上)
 - 未利用魚の消費拡に向け、飲食店での販売

■市場の再整備に向けての検討

- 実効性のある「基本計画」となるよう検討委員会及びその分科会に毎回出席し必要な助言、提言を行うなど全面的に協力
- 再整備後の市場運営のあり方について内外の関係者と広く意見交換

課題・問題点を精査し、新たな事業手法の検討も含め3年程度かけて継続審議

■モニタリングの評価結果

- 昨年度を上回る更に高い評価
[評価結果の推移]

	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
レ ベ ル	S	1	2	2	5	5	5	6	9	10	11	5	8
	A	9	9	9	6	6	6	5	2	1	0	6	3
	B	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■サービスの向上

- 市場関係者の要望に応え、管理棟前の駐車場においてキッチンカーを誘致し、PRチラシを作成、配布するなど販売の支援 ※出店回数：50回
- 全面的に改修した青果休憩室において、市内授産施設によるカレー、クッキー等の販売支援 ※出店回数：24回

■社員研修の充実

- 「労務管理」「経理研修」等様々な分野における外部研修に積極的に参加
※12回出席、延べ12人参加(2.0回/人)

■コンプライアンス

- 全社員が社会を構成する一員として社会的ルールを守り、判断、行動するよう内部統制の強化

■個人情報の保護

- 幹部社員を個人情報保護責任者として任命
- 卸業者・仲卸業者等の企業秘密について適切に管理
- 受注者が個人情報の適正な管理に努めるよう契約条項に盛り込む

■情報公開体制

- 管理運営業務に関して「府政情報センター開架資料」として、事務所内に整備
- 各種統計データや主要行事等をホームページにリアルタイムにアップ

■人権問題に対する取り組み

- 人権問題を企業の重要な社会的責任として人権問題への取り組みの強化
- 社員を各種研修会へ参加させるなど人権問題に対する社員の意識啓発
※人権参加実績：10回出席、延べ10人参加(1.3回/人)
- 厚生労働省等が主唱する「公正採用選考人権啓発推進員」を任命
- 各種人権推進団体とのコラボによる諸活動(街頭キャンペーン等)
- 受注者が人権啓発に係る研修を契約条項に盛り込むよう指導